

2026 年度用 出題の意図

科目名：国語

本学の「国語」の出題範囲は「現代の国語」「言語文化」「論理国語」「古典探究」（ただし漢文を除く）とする。全体を三つの大問で構成し、大問Ⅰは現代文、大問Ⅱは漢字、大問Ⅲは古文である。どの問題も原則としてマークシート方式と記述方式を併用する。

現代文では論説文を基本とするが、試験日より随筆や小説からも出題することがある。どのジャンルでも受験生には文章の論理構造の的確な把握を求め、それを前提とした問題を中心に出题する。著者の主張の理解に基づく記述方式の問題も積極的に設けており、読解力のみならず文章の論理構成力も養った上で試験に臨むことが望まれる。

漢字では従来の書き取り及び読みに加え、2024 年度一般入試からは漢字の字義（本来の意味）の理解度を試すマークシート方式の問題も設けている。電子機器により漢字の「変換」はすっかり日常化した但、雰囲気による確定では字義を十分に知ることはできない。受験生には熟語を構成する漢字ひとつひとつの意味を深く理解して臨んで欲しい。

古文では現代文と同様に文章の論理構造の把握を重視する。そのため古文常識などの知識を単純に問う問題ではなく、文脈を理解した上での主語・文法判断、内容説明、真偽判断などを中心とする。記述方式の問題では現代語訳などを通じた総合的な読解力を問うことも多く、受験生には日頃から古文に親しみ、読み解く力を十分につけて臨んで欲しい。なお本学の学部学科構成の特性に鑑み、古文では漢文は出題範囲としない。